ゲーム・SNS利用のルール作りを

教育長　塩澤雄一

ネット依存の中高生93万人

8月下旬、ネット依存の中高生93万人と、衝撃的なニュースが報じられました。これは厚生労働省の研究班による全国の中学生、高校生を対象にした調査で、8項目のうち5項目に『当てはまる』と答えた場合はネット依存であると判断しており、5年前の調査からその人数は倍増しています。

その調査項目は①自分はネットに夢中になっていると感じる　②予定より長時間使用する　③時間制限しようとしてもうまくいかなかったことがある　④トラブルやいやな気持ちから逃れるために使用する　⑤使用しないと落ち着かない、イライラする　⑥熱中を隠すために家族らにうそをついたことがある　⑦使用時間がだんだん長くなる　⑧ネットのせいで人間関係などを台無しにしそうになったさて、あなたは、あなたのお子さんはいくつあてはまるでしょうか。

本区の子どもたちの現状

ネット依存とは、スマートフォン（スマホ）などをインターネットに接続し、オンラインゲームやSNSを長時間にわたってやり続け、日常生活に支障をきたすこと。中学生や高校生では、学業成績が低下する、睡眠不足による居眠りや遅刻、友人とのトラブル、より進むと昼夜逆転による不登校、家族への暴言、金銭トラブル、引きこもりなど様々な問題につながる恐れがあります。

子どもたちの実態は様々ですが、全国調査から、本区の児童・生徒のスマホの所持率は高く、一日にゲームに費やす時間が4時間以上の児童・生徒は1割を超え、SNSに一日2時間以上費やす中学生は3割を超えています。依存症とはいかなくても、それに近い状態や、このままではそうなりそうだ、ルールは作ったが守れない、スマホをほしがるが与えてよいか悩んでいるなど、家庭によって様々悩んでいるのではないでしょうか。

時間を大切にするためのルール作り

私はスマホがすべて悪いとは思いません。使い方によっては大変便利な道具だし、生活も豊かにしてくれます。しかし、一日の大切な時間を小・中学生にはもっと有効に使ってほしいのです。直接家族や友達と会話すること、体を動かし遊び運動をすること、趣味に没頭すること、これから生きていく上でもっとやらなければいけないことが沢山あります。

SNSかつしかっ子ルールのパンフレットはご覧いただけているでしょうか。これは中学校生徒会と青少年委員さんとで話し合い作ったルールです。これをもとに各学校でも生徒会や児童会でルール作りをしている学校もあります。そして各家庭でもルール作りが進んでいます。しかし、一部ではそのルールが守れず、子どもも家族も悩んでいるようです。そのままでは依存症といった取り返しのつかないことになってしまいます。

改善のための取組みを

「いつまでやっているの、やめなさい」と何度言ってもやめないのが現実ではないでしょうか。やめさせるためには、子どもが自分で気づき「長い時間やり続けるのはやめよう」と自分でその気にならなければ効果はありません。

そこで、提案です。次のことを実行してみてください。まず、各家庭で子どもと話し合い『ルール』を作ること、ある学校では、そのルールの提出を求めています。そして、ルールを守るための環境を整える、スマホの置き場所を決める、大人もルールは守るなどです。ルールが守れたら、そのことは言葉に出して認めましょう、守れなかったら一言「守れなかったね」と言い、くどくど言うことはやめましょう。スマホから離れ、他のことに没頭するようなことがあったらすかさずほめましょう。小学生のゲーム機も同様です。小さいうちからきちんと約束を守ることが大事です。

＝「かつしかのきょういく」は年3回発行です。皆様でご覧ください。＝

この広報誌は、印刷用の紙にリサイクルできます。

来年度からの教科書が決まりました

平成31年度使用教科用図書採択結果

今年度は、来年度から中学校で新たに教科化される「特別の教科　道徳」の採択年度にあたります。そのため、平成31年度から、区立中学校では、今回採択された教科書を使用することになります。教科書採択に関する教育委員会での審議は、8月10日に行われ、「東京書籍」の教科書が採択されました。

なお、その他の教科については、小学校、中学校共に、現在使用している教科書と同じものを使用します。

教育委員会のうごき

5月から9月の間に、教育委員会の会議が9回開催され、13件の議案を審議し、すべて可決されました。また、42件の報告事項を報告しました。

詳しくは葛飾区ホームページ http://www.city.katsushika.lg.jp をご覧ください。

（会議録もご覧いただけます。）

教育総務課 ☎（5654）8449

編集　葛飾区教育委員会事務局
教育総務課　☎（5654）8449